

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	サウンドアナライズ		授業形態 / 必・選	講義		必修		
			年次	1 年次or 2 年次				
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	40回（80単位時間）	年間単位数	5 単位			
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ P A コース（1年次） / ライヴハウスコース（2年次） / 企画制作コース（2年次）							
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目						該当 ☒	非該当 ☐
担当講師 実務経歴	実務経験：27年。 音楽ソフトの企画・制作からプロモーション、アーティストマネジメントに従事。その後、ヘアメイク、スタイリスト、カメラマン、デザイナーなどクリエイターのマネジメントに移行。現在も幅広く業務を行っている。							
授業概要								
さまざまな年代、ジャンルの音楽について知識を深める。 音楽の歴史背景だけでなく楽曲そのものにも触れていく。								
到達目標								
アーティストの要望に対応するための幅を広げる。								

授業計画・内容		
【前期】 1～5回目	・クラシック（古典派） ・クラシック（ロマン派） ・ラグタイム	弦楽四重奏（Vln、Vla、Vc、Cb） Apf Resonator
【前期】 6～10回目	・ブルース ・ジャズ （ビックバンドジャズ）	Guitar、Harmonica Tp、Sax、Tb、C.B、Hammond Organ、Leslie Speaker Vib、Ondes Martenot
【前期】 11～15回目	・カントリーミュージック ・R & B（リズム＆ブルース） ・ゴスペル	Banjo、Steel Guitar、Resonator G. Mandolin、Bandoneon、Auto Harp String Bender、Wurlitzer、Clavinet
【前期】 16～20回目	・ロックンロール ・70年代歌謡曲 ・80年代歌謡曲	CP70 DX-7
【後期】 21～24回目	・90年代歌謡曲 ・ロック ・サーフィンロック ・グラムロック	SEQ Mellotron、Moog Theremin
【後期】 25～28回目	・プログレッシブロック ・パンクロック ・ハードロック ・フュージョン	Mashall、Fender Twin、Ampeg Rhodes
【後期】 29～32回目	・ボサノヴァ ・シャンソン ・インディアンミュージック ・レゲエ	Sitar、Electric Sitar
【後期】 33～36回目	・ハワイアンミュージック ・ヘビーメタル ・ジャパニーズ・メタル	Ukulele Twin BD
【後期】 37～40回目	・ヴィジュアル系ロック ・ジャパニーズ・ロック	
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）	
学生へのメッセージ	自分の好きな音楽だけではなく、幅広く音楽ジャンルを知識として学びましょう。 フェイバリットアーティストの影響を受けたアーティストの事を知ることも大切です。	
使用教科書	オリジナルPDFテキスト	

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	クリエイティブPC講座Ⅱ		授業形態 / 必・選	講義	必修
			年次	2年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	84回（168単位時間）	年間単位数	11単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ ライブハウスコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 ☒	非該当 ☐	
担当講師 実務経歴	実務経験：27年 デザイン会社で雑誌・パンフレット制作を担当。 DTP（デスクトップパブリッシング）のデザイン制作から広告などの企画提案・制作・ディレクション業務に至る一連の業務に従事。				
授業概要					
Dreamweaver、Illustrator等のソフトやHTML、CSSについて、より高い精度での操作と、より人に伝わるデザインについて学ぶ。					
到達目標					
P C作業における実践的な技術力の習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	DreamWeaverを使用したWebサイトの仕組み、作り方。 HTML・CSSを使って実践的なサイト構築。
【前期】 11～20回目	Premiereを使用し、動画における基礎知識と動画編集の基本。 撮影プランを考え、撮影～編集までの工程。
【前期】 21～30回目	オリジナルのボードゲームを考案、作成。 パソコンで説明書からゲームに必要な全て素材を制作。
【前期】 31～40回目	フォントの扱い方。版面率とは。タイトルの見せ方/伝え方。 複数の画像の扱い方。裁ち落とし、角版、切り抜きの3つのスタイルの違い。 グリッドシステムの使い方。 イキャッチの使い方。
【後期】 41～48回目	男性をターゲットにしたデザイン。 女性をターゲットにしたデザイン。 デザイン考察のまとめ。
【後期】 49～56回目	セット図の理解 整列設定の復習と応用。パスファインダーの使い方。
【後期】 57～64回目	ペンツールの復習と応用。パスのアウトライン。 回転、移動、複製など。ポイントにスナップ。
【後期】 65～72回目	変形ツールの扱い方。変形ツールで出来る編集内容。 変形ツールの扱い方。正確な値で図形を描く。尺貫法でのグリッド線の描き方
【後期】 73～82回目	学園のステージ図面を、実際に描いてみる（1/50の縮尺で）。 外部のステージ図面を、実際に描いてみる（1/70の縮尺で）。
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	支給i-Pad持参
使用教科書	学園MAC使用

専門学校E S P エンタテインメント東京

授業科目名	ライブハウス制作講座Ⅱ		授業形態 / 必・選	講義	必修
			年次	2 年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	40回（80単位時間）	年間単位数	5 単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ ライブハウスコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	実務経験：23年 10年以上にわたりライブハウスなどでイベントの企画や制作に従事し、自身もライブハウスで出演した経験を 活かしたアーティストとしての目線も持ったプランナー				
授業概要					
ライブハウスでのイベントの準備（企画、ブッキング等）からイベント当日の進行等の業務全般について学ぶ。					
到達目標					
ライブハウスにおける業務についての総合力の向上。					

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	300キャバのライブハウスでイベントの組み方 バンドの選び方、ブッキングの方法
【前期】 11～20回目	メールマナー、バンドのブッキング イベントのテーマイメージ作り
【前期】 21～30回目	イベントの概要作り バンドセット図の作り方（機材機種を細かく記載）
【前期】 31～40回目	タイムテーブル作成（全セクションが見やすく分かり易いもの）
【後期】 41～48回目	宣伝方法（より多くに伝達出来る方法） インパクトのあるフライヤー作り
【後期】 49～58回目	スムーズなイベント進行 舞台上の立ち位置（正確な図面）作成
【後期】 59～66回目	持込み楽器の確認（他バンドと混信しない様、ワイヤレス周波数の確認）
【後期】 67～74回目	バンドの転換時における楽器移動の仕方、有効スペースの使い方
【後期】 75～80回目	アーティストに対して、ケータリング含む楽屋の作り方
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	支給i-Pad・カラーマーカー・クリアファイル持参
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校E S P エンタテインメント東京

授業科目名	ライブハウス分野別講座		授業形態 / 必・選	講義	必修					
			年次	2 年次						
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	82回（164単位時間）	年間単位数	10単位					
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ ライブハウスコース									
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐									
担当講師 実務経歴	実務経験：30年 ライブハウス・PA会社など数多くの多彩な現場で活躍し、都内のライブハウスの立上げにも携わっている。									
授業概要										
一般教養、楽器、半田製作、パソコン、音響、照明、P C等の、ライブハウスで働くのに必要なことを学ぶ。										
到達目標										
ライブハウスで働く上での総合的な知識の修得。										

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	一般教養 ・ビジネスメールの書き方 ・尊敬語、謙譲語の使い方 ・社会人としての言葉の使い方 ・電話応対
【前期】 11～20回目	一般教養 ・言語コミュニケーション ・リフレーミング言葉 ・クッション言葉
【前期】 21～30回目	楽器知識 ・ライブハウスで使用される主な楽器についての知識 ・ドラムセットの名称や種類
【前期】 31～40回目	楽器知識 ・ギターの名称や種類 ・ベースの名称や種類 ・キーボードの名称や種類 ・その他楽器の名称や種類
【後期】 41～48回目	半田製作 ・ライブハウスで使用されるケーブルの製作 ・マイクケーブルについて ・スピーカーケーブルについて
【後期】 49～56回目	半田製作 ・TSフォンについて ・NL-4について
【後期】 57～64回目	音響 ・PAの授業で使用するデジタルミキサー以外を学ぶ。 ・ワイヤレスマイクについて ・1 年次の応用についてx
【後期】 65～72回目	照明 ・ムービング照明の知識を補足 ・LEDライトの知識を補足
【後期】 73～82回目	パソコン ・エクセル、イラストレーターなどの応用
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	支給i-Pad・カラーマーカー・クリアファイル持参
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校E S P エンタテインメント東京

授業科目名	ライブハウスPA実習Ⅱ		授業形態 / 必・選	実習	必修
			年次	2 年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	84回（168単位時間）	年間単位数	5 単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ ライブハウスコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	実務経験：30年 ライブハウス・PA会社など数多くの多彩な現場で活躍し、都内のライブハウスの立上げにも携わっている。				
授業概要					
デジタル機材の知識・技術を学ぶ。					
到達目標					
デジタル機材の取り扱い方法の習得。 ハコ（ライブハウス）専任OPとしての技術習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	M7CLの基本操作、音出し SM20の基本操作、音出し
【前期】 11～20回目	M7CL,SM20の分岐の説明、iPadの接続 2班分けてFOH、モニターの仕込み
【前期】 21～30回目	デジタルミキサーとアナログミキサーの違いについて ハウスとモニターの音作り
【前期】 31～40回目	スピーカーチューニングの仕方・ポイント 2班分けてFOH、モニターのチューニング
【後期】 41～48回目	企画ライブに向けた仕込み～チェック（FOH、モニターそれぞれ2回） サウンドチェックにむけて
【後期】 49～56回目	マイキング、EQ、サウンドチェックの進め方 サウンドメイキングの方法
【後期】 57～64回目	コンプレッサー ノイズゲート
【後期】 65～72回目	リバーブ ディレイ
【後期】 73～84回目	データ保管方法・その大切さ 企画ライブに向けたオペレーション作業（FOH、モニターそれぞれ2回）
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	実習・イベント時の格好（黒スニーカー・黒ズボン・学園指定のTシャツ・ジャンパー、長い髪は結びアクセサリは外す） 支給iPad・LEDライト・テスター・黒/白ビニールテープ・マジック・クリアファイル持参
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	ライブハウス照明実習Ⅱ		授業形態 / 必・選	実習	必修
			年次	2 年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	80回（160単位時間）	年間単位数	5 単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ ライブハウスコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐				
担当講師 実務経歴	実務経験：15年 都内のライブハウスや各種イベントなどで照明オペレーターとして活躍。 また様々なアーティスト専属オペレーターとして従事。				
授業概要					
イベントに向けての作業や機材の使い方に関する学内ホール機材を使用したデジタル機材の基礎学習。					
到達目標					
仕込みから卓の打ち込み、操作方法、オペレート等、ライブハウスの現場で必要な技術の習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	ホールについて ・照明視点からのホールについての説明 ・ホールの管理状況。
【前期】 11～20回目	Pearl卓 ・打ち込み方法から実践で活用する機能。 ・Spark卓と併用し操作を学ぶ。
【前期】 21～30回目	Spark卓 ・ムービングを繋ぎ、卓の操作方法と一般灯体と切り離した状態でのオペレート。
【前期】 31～40回目	LED ・ブロックミニ ・RGBの光の三原色を基本に作るあかり作り。 ・機材と仕込み知識。
【後期】 41～48回目	ムービング照明 ・SPOTについて ・WASHについて
【後期】 49～56回目	ムービング照明 ・Spark卓にてオペレート、pearl卓にて打ち込み操作方法。
【後期】 57～64回目	仕込み作業 ・脚立を使った高所作業とシーリングの昇降ボタンを使った仕込み。 ・安全に作業する為の脚立の建て方。 ・昇降ボタン操作。
【後期】 65～72回目	オペレート操作 ・企画、学内イベントでのオペレート。 ・就職に向けた幅広いジャンルのオペレート。
【後期】 73～80回目	オペレート操作 ・アドリブオペレート、自分の使いやすいあかり作成。
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	実習・イベント時の格好（黒スニーカー・黒ズボン・学園指定のTシャツ・ジャンパー、長い髪は結びアクセサリーは外す） 支給iPad・LEDライト・テスター・黒/白ビニールテープ・マジック・クリアファイル持参
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校E S P エンタテインメント東京

授業科目名	ライブハウス実地演習Ⅱ	授業形態 / 必・選	演習	必修
授業時間	180分（1単位時間45分）	年間授業数	9回（36単位時間）	2 年次
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ ライブハウスコース			
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐			
担当講師 実務経歴	各科目担当講師、及び研修先のご担当者様等。			
授業概要				
それぞれのイベント等において接客対応、現場における作業について研修を行う。				
到達目標				
現場における作業、流れ等のノウハウ習得。 イベント等を協力して作り上げることによるコミュニケーション能力の向上。 企画、立案、進行等、インプット・アウトプット能力の向上。				

授業計画・内容	
1～2回目	学生コンサート・ライブ実習①② 各セクションの作業内容、タイムテーブル、関連性を学ぶ
3～4回目	外部コンサート・ライブスタッフ研修 ①屋内会場 ②屋外会場
5～9回目	E S P 学園主催イベント①～⑤
評価方法	平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	この演習を通じて、現場における流れや、他社とのコミュニケーションの仕方等確りと学んでください。
使用教科書	当日の役割分担表、業務要項等を配布